

# 9

## 気づきから実践へ

人権課題の解決や共生社会の実現に向けては、理解や認識を深めるだけでなく、それをもとに行動に移すことが大切です。難しく感じるかもしれませんが、ボランティアや学校行事などでできることがあるのではないのでしょうか。一人では難しくても、同じクラスや部活動、学年、学校、先生、保護者、地域の人、関係機関などさまざまな人と協力することで、できることが広がり、その成果も充実してくるでしょう。

取り組むテーマや内容は、第2部の個別的な人権課題や、SDGs(持続可能な開発目標)<sup>\*1</sup>の17のゴールとのつながりから考えてみましょう。

(\*1 第2部「総括 すべてはつながっている」参照)

### ○ 高校生の活動あれこれ

被災地支援活動	地域イベントの運営
 <p>豪雨でじんだな被害を受けた地域で、ボランティア活動に参加しました。被災された方々の気持ちやプライバシーへの配慮を心がけながら、水害にあった民家でのがれきの運び出しや、壁土の撤去、汚れた柱の掃除に取り組みました。</p>	 <p>インターンシップとして、幼稚園・保育園で絵本の読み聞かせや工作などの模擬保育などを体験しました。さらに、その後、ボランティアとして子どもとの交流に参加し、お楽しみ会等の運営にも参加しました。</p>
フェイスシールドの寄贈	子ども食堂の運営
 <p>新型コロナウイルス感染症<sup>*2</sup>が広がる中での災害ボランティア支援を目的として、自分たちが作成したフェイスシールドをボランタリープラザに寄贈しました。</p>	 <p>子どもに無料または低額で食事を提供する「子ども食堂」の運営にボランティアとして参加しました。勉強を教えたり、遊び相手になったりと子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに協力しました。</p>

(\*2 第2部「テーマ8 感染症への不安に負けないために」参照)

- 「高校生の活動あれこれ」の事例について、活動の背景となっている出来事や人権課題について考えてみましょう。
- 身近な地域や人に関すること、報道で取り上げられていることなどから、班やクラスでのテーマや活動内容を考えてみましょう。